

目次

- 1面 21世紀の川崎の教育を創造する研究会 (21研)
- 2面 ICT学習会
- 3面 日P徳島うずしお大会
指定都市PTA情報交換会仙台大会
安全・安心な中学校給食の提供に向けて
- 4面 親と子のつどい/写生会表彰式

市P協かわさき

発行者 川崎市PTA連絡協議会
 会長 齊藤 植栄
 編集者 市P協広報委員会
 事務局 川崎市川崎区富士見2-1-3
 ☎ 044-210-0072
 FAX 044-210-0073
 市P協HP http://www.pta-kawasaki.jp/
 印刷所 有限会社 協立印刷社
 ☎ 044-222-4205

21世紀の川崎の教育を創造する研究会

各区PTA協議会の取り組み

『21世紀の川崎の教育を創造する研究会(以下21研)』は、川崎市子どもの権利に関する条例の趣旨を生かし、子どもを中心とし、いきいきとした川崎らしい教育を創りだして行くことを目的に開催されています。

教職員による、教科などの研究発表だけではなく、各区のPTA協議会でも、意見交流を中心に『学校と保護者・地域』それぞれが、協力・共働して取り組むことで研究協議が行われています。

10月12日に行われた21研での、各区PTA協議会の取り組みを紹介します。

川崎区PTA協議会



川崎区

『子どもたち』と『地域と連携した取組』の2つのテーマについて、活発に意見交換をしました。

川崎区では、旭町小学校を会場に21研が開催されました。教職員と保護者が情報交換を行う第20分科会には教職員26人、保護者35人、計61人が出席し、『ゲームや携帯電話を守るフィルタリング機能の活用など』、禁止するだけではなく、今や情報伝達手段として社会的に定着している携帯電話と、いかに上手に付き合っていくかという観点から、有意義な時間だったとの声が多く聞かれました。

幸区PTA協議会

幸区では、古川小学校において『子どもをとりまくインターネットの現状と大人が取るべき対応』第20分科会(参加者52人)を開催しました。



幸区

NSなどに他人が作った絵・写真・文章等を投稿した結果、著作権侵害訴訟やネットいじめによる人権侵害など多額の賠償請求に至った経緯が紹介されました。

中原区PTA協議会

LINE株式会社 松竹谷 尚子氏の講演 大戸小学校にて教職員34人、保護者37人合計71人が参加し「インターネットを利用する際の」



中原区

『注意事項』について学びました。

情報モラルには、通常のモラルを身につけること、ネットの特徴を知ること、想像し決断することが必要であり、また普段からインターネットに関するコミュニケーションを子どもと持ち、相談できる環境づくりを行うことも必要だと話されました。

高津区PTA協議会

高津区は末長小学校にて、各校の教職員・保護者から約600〜700人が参加しました。参加者は14の分科会に分かれ、各教育テーマに関する研究成果発表や意見交換を行いました。

分科会の一つ、特別文科会では、高津区PTA協議会が問題提起した「家庭におけるマナー・しつけの今と昔」ICTがもたらした変化について考える」というテーマに対し、約50人(教員約20人、保護者約30人)が6グループに分かれて



高津区

活発な議論を行いました。ICTは便利で有益なツールですが、一方で、個人情報流出・金銭犯罪・いじめなどのトラブルの可能性というマイナスな側面もあります。それに対する家庭での対応策を協議しました。

各グループディスカッションでは、子どもたちがICTを活用する上で、「親がモラルの手本を見せる」「親子の会話により、子どものコミュニケーション能力を養う」などを確認し合いました。

参加した保護者からは、「先生と直接意見交換して、先生の苦労を知ることが出来良かった」などの感想が寄せられました。

宮前区PTA協議会

宮前区では毎年、宮前区地域教育会議作成の『教育談義カード』を使った意見交換会を、地域教育会議と合同で行っています。今年度は鷺沼小学校にて、保護者・教職員・地域の方、合わせて80人ほどが8班に分か



宮前区

多摩区PTA協議会

多摩区では、かわさき教育プランを基に、毎年テーマを決めて、意見交換会を開催しています。今年度は、『登下校時の安全確保について考える』をテーマに、教職員・保護者・地域の方々が、6班に分かれて意見交換をしました。

意見交換なので、結論を求めてはいませんが、各グループのまとめで、「集団登下校」「子ども目線の安全マップや対策」

麻生区PTA協議会

今年度は、家庭や学校でも関心の高いスマホについて話し合い、発表をしました。このように、普段、保護者と教職員が、同じ目線で話し合う機会がはめつたにないのではないのでしょうか。

次に、参加者全員に実機(iPhone)を配布して、実際に使っている様子を見せながら、フィルタリングについて学びました。初めて使う方は戸惑いながらも、そうでない方の中にも、初めて知った設定方法に驚きながら、皆さん



麻生区

れ、二つの設問についてそれぞれ意見交換を行いました。例えば「あなたは小学生の保護者です。娘の同級生の問題行動を、娘に止められても注意しますか?」といった内容の設問に対し、「イエス」か「ノー」のカードで自分の考えを表明、なぜそう思うのかをお互いに話していきます。「設定の立場に立って考え、発言する。少数派の意見も尊重

など、いくつかのキーワードが出されました。また、多摩区では、小学校と中学校の単位PTA(以下単P)が一つずつ分科会を持ち、地域との連携や特徴的な単P活動の発表を行っています。今年度の担当校は、長尾小学校と稲田中学校で、小規模校ならではの取り組み事例(長尾小)、地域とのふれあいを大切にしていたPTA活動の事例(稲田中)を、各単P会長が発表し、参加した教職員と保護者が意見交換を行いました。



稲田中学校PTA



長尾小学校PTA

多摩区